

令和 6 年度学校評価計画書

学校名（ 大野中学校 ）

評価計画				自己評価								改善方法	学校関係者評価		
中期目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・指標	教科	7 年	8 年	9 年	7 評価	8 評価	9 評価	結果と課題分析				
「小言中語を貫徹を使いこなす力」 「多様性を認め協働する力」 「自律的に活動する力」 を育成する	基礎・基本の定着	・ 5 教科の強化	9年生：全国学力・学習状況調査の県平均との差，8・7年生：定着度診断問題の全国平均との差 +3pt以上－A， +3pt以内－B， -3pt以内－C， -3pt以上－D	国							100%以上A 80%以上B 60%以上C 60%未満D				
				社											
				数											
				理											
		英													
	学ぶ楽しさを実感させる授業づくり 【重点項目】	・ 家庭学習の充実を図る	生徒アンケート「家で自分で計画を立てて勉強しています」の肯定的評価（60%以上）	7月 12月						7月					
				7月 12月						7月	12月				
	育成すべき資質・能力を意識した教育活動の推進	・ 課題発見解決学習の実践 ・ 学年別研究授業や小中合同の研修会の実施	生徒アンケートで「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」肯定的評価（85%以上）	7月 12月						7月	12月				
				7月 12月						7月	12月				
	児童生徒の主体的な活動の充実 つなプロの日常化 (不登校生徒の減少) 【重点項目】	・ 児童会，生徒会，委員会活動，異年齢活動の充実	・ 学級活動の充実	アンケートで「教育活動に主体的に（自分から）取り組んだ」の肯定的評価の割合（90%以上）						7月	12月				
				生徒アンケートの自己有用感・所属感に関するアンケート項目の肯定的評価の割合（80%以上）						7月	12月				
				生徒アンケートで「自分は学校・学年・学級集団（チーム）の仲間に協力し，貢献していると思います」の肯定的評価の割合（80%以上）						7月	12月				
				アセスメントを行い，適応指導教室や学校以外の機関につないだ割合100%						9月	最終				
	働き方改革の推進	・ 学校行事その他の活動を精選する。 ・ 仕事に見通しを持たせる。	時間外勤務月平均55時間以下にする。 （以下－A， +5%以内－B， +10%以内－C， +10%以上－D）月80時間越えの教員を減少させる							9月	2月				
	その他		保護者アンケートで「大野中学校の教育に満足している」の肯定的評価の割合（85%以上）	7月 12月						7月	12月				